

2025 年度聖学院大学大学院

心理福祉学研究科
秋期入学試験問題

[心理福祉学研究科]
修士課程

英 語 (6 0 分)

<注意事項>

- ① 監督者の指示があるまで、この問題用紙を開かないで下さい。
- ② 監督者の指示により、解答を止めて下さい。
- ③ 試験終了後、問題用紙と解答用紙を回収します。
- ④ 机の上には、受験票・筆記用具・辞書のみを置いて下さい。
- ⑤ 質問等がある場合は、静かに挙手して監督者を待って下さい。

受験 番号		氏 名	
----------	--	-----	--

I. 以下の英文を読み、各設問に答えてください。

著作権の都合により非公開

長文出典 Gilligan, C. (1982). *In a Different Voice: Psychological Theory and Women's Development*. Cambridge, Mass, Harvard University Press.

* Virginia Woolf (1882-1941) was an English novelist, essayist, biographer, and feminist.

- 1) 下線部①、②を和訳してください。
- 2) 下線部③について、相手をケアすることについて、女性と男性ではどのような違いがあると筆者は述べていますか。英文をもとに説明してください。

II. 以下の文章を和文英訳してください。

- 1) 科学的客観性には歴史がある。客観性とは、つねに科学を定義づけてきたものではない。
- 2) 私たちが求めているのは人生の意味だと人々は言います。しかし、私たちが本当に求めているのは「生きている」という実感だと思います。

III. あなたが聖学院大学院心理福祉学研究科に入学を希望する理由を英語で述べてください。

聖学院大学大学院 心理福祉学研究科修士課程
入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名
2025 秋 (24 年度実施)	MSEN-025	心理福祉学研究科修士課程 英語科目

・入試問題解答例等記入欄

【設問】

別紙試験問題「MSEN-025」参照

【解答】（選択式・記述式）

I

1) ①その結果、女性は自らの感情の正当性に疑問を持つようになり、他者の意見に従う形で自身の判断を変えるようになる。

②他者のニーズへの感受性とケアの責任を引き受けることによって、女性は自分自身の声以外の声に耳を傾け、自らの判断に他者の視点を含めるようになる。

2) 男性のライフサイクルにおける女性の位置づけは、養育者、世話役、人生の伴侶であり、女性自身も依存する人間関係のネットワークを織りなす者であった。しかし女性がこうして男性のケアを担ってきた一方で、男性は心理発達理論においても経済制度においても、そのケアを自明のものとするか、その価値を軽視してきた。

II

1) Scientific objectivity has a history. Objectivity is not something that has always defined science.

2) People say that we are searching for the meaning of life. But I believe what we are truly seeking is the experience of being alive.

【出題意図】（論述式）

志望動機、研究目的、修了後のキャリアビジョンなどについて、英語を用いて論理的に意見を表現し、具体的で説得力のある理由を述べる能力を調べる問題である。

【解答例】（論述式）

I would like to study at Seigakuin University Graduate School of Psychology and Social Welfare Studies for several reasons.

During my undergraduate research on elderly mental health, I realized that effective care requires understanding both psychological and social dimensions of human life. Your graduate school's comprehensive approach to exploring the relationship between the mind and society aligns perfectly with my academic interests.

I am particularly attracted to your program's emphasis on developing "deep insight" and empathy for addressing contemporary societal issues. The integration of psychological knowledge with social welfare practice, grounded in Christian humanism, offers a unique perspective that I cannot find elsewhere.

My goal is to become a clinical psychologist who can provide holistic support for individuals facing complex challenges in modern society. I believe your program's focus on developing advanced expertise for those seeking solutions to real-world problems provides the ideal environment for achieving this goal.